

POWER SUPPLY DEVICE FOR GAME MACHINE

Patent Number: JP2003033478
Publication date: 2003-02-04
Inventor(s): SUWA YOSHIKAZU
Applicant(s): KOBISHI DENKI KK
Requested Patent: JP2003033478
Application Number: JP20010222574 20010724
Priority Number(s):
IPC Classification: A63F7/02
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a power supply device which can be downsized, for a game machine.
SOLUTION: This device uses commercial 100 V power supply as a input voltage and includes a step-down transformer 3 having a plurality of taps 11 to 14 with different turns of coils at a primary coil 18, and a switch 4, which can switch output voltage of the step-down transformer 3 to several levels by selecting a desired tap from taps 11 to 14, provided between an input terminal 2 and the taps 11 to 14 of the step-down transformer 3. This switch 4 is composed of a rotary switch, which enables conduction between any contact point at the coil 15a to 15d and the input contact point 16.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

BEST AVAILABLE COPY

整理番号 0300038
 発送番号 286805
 発送日 平成16年 8月 5日

拒絶理由通知書

特許出願の番号 特願2003-033478
 起案日 平成16年 8月 3日
 特許庁審査官 五首 昭一 9368 5D00
 特許出願人代理人 立石 篤司 様
 適用条文 第29条第2項、第36条、第37条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理由

イ. この出願は、下記の点で特許法第37条に規定する要件を満たしていない。
 記

請求項1、4～8、10、12～16に係る発明と、請求項2、3、9、11に係る発明とは、産業上の利用分野が共通しているとは認められるものの、前者の発明において必須の構成要素である「対物レンズを含む可動部を摩擦力に抗して駆動機構を介して駆動する」構成が後者の発明に何ら備えられておらず、また、本願出願前に未解決であって両者の発明に共通する解決すべき技術課題が存在するとも認められない。

従って、これら両者の発明が出願の单一性に関する要件を充足しているとは決して認められない。

そして、この出願は特許法第37条の規定に違反しているので、請求項1、4～8、10、12～16以外の請求項に係る発明については新規性、進歩性等の要件についての審査を行っていない。

ロ. この出願は、発明の詳細な説明の記載について下記の点で、特許法第36条第4項第1号に規定する要件を満たしていない。
 記

段落番号0034第1行、第4行、最後より2行目には「コンデンサC1」と記載されているが、図3中には対応する表記がない。

ハ. この出願の請求項1、4～8、10、12～16に係る発明は、その出願前日本国内において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記

引用文献：

- 特開平1-213837号公報
- 特開平9-282693号公報
- 特開2000-11414号公報
- 特開昭62-141636号公報

BEST AVAILABLE COPY

請求項1、8、10、16に係る発明について……上記引用例1～3

引用例1には、光ピックアップの駆動信号に、摩擦力低減の為の交流信号を重畳するサーボ回路が記載されている（第2頁右下欄第19行～第3頁左上欄第20行、及び、第1図参照）。

また、引用例2、3には、摩擦力に抗して可動部を駆動するテルト機構が記載されている（引用例2の段落番号0030、0038、図1、及び、引用例3の段落番号0036、図27参照）。

そして、引用例1の発明が適用されるサーボ系として、引用例2、3に記載さ

れたテルト系を選択することにより当該請求項に係る発明の構成とすることは、当業者が容易に想到し得たものと認められる。

請求項 4、12に係る発明について……上記引用例1～4

引用例4には、光ピックアップの駆動信号に重畠される摩擦力低減用交流信号を定常状態でオフにする構成が記載されている（第2頁右上欄第15行～左下欄第5行、第2頁右下欄第10行～第13行参照）。

請求項5～7、13～15に係る発明について……上記引用例1～3

時期の特定されない一部区間において交流信号を変化させることによる格別の効果が全く不明である以上、この点に何ら格別の差異は見出せない。

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 I P C 第7版 G 11 B 7/09
G 11 B 7/095

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

BEST AVAILABLE COPY